

このコーナーでは、  
農業のちょっとしたコツを、  
市の営農指導員から  
お知らせします。

## 営農指導員の ワンポイントアドバイス

営農指導員 永興 啓

### ポットハボタンの栽培

#### 1 経営上の特性

ポットハボタンは、冬季の花壇や鉢、プランターなどを彩る代表的な花卉です。栽培が簡単で、資材費を比較的安く抑えることができるほか、需要が安定しているのが特徴です。

10月以降の気温が低い時期になると、葉が色づきはじめます。低温になることで次第に色が鮮やかになるため、早く気温が低下する庄原地域では、有利に栽培できるでしょう。



#### 2 作業

一般的に播種（種まき）は7月中旬から8月中旬に行いますが、高冷地では早めの、温暖な地域では遅めの時期に播種します。播種はセルトレイ（※1）で行い、生育が進めばポットに植え付けます。

コンパクトに仕上げるために、生育の途中で矮化剤（※2）を使い、外葉径を小さくするとともに、

葉数を増やして品質を向上させます。そして、株の大きさや発色の程度を見ながら、11月から出荷します。

#### 3 栽培の流れ

① 200〜288穴のセルトレイに無病の用土（市販の用土が無難）を入れ、1つの穴につき1〜2粒播種します。播種後は寒冷紗（※3）などを被せて、できるだけ涼しく保ちます。

② 播種後6日目に、矮化剤を散布し、1回目の矮化処理を行います。

③ 播種後30日くらいで、10・5センチ程度のポットに植え付けます。

④ ポットに植え付けてから7日目ごろに、再度矮化剤を散布し、2回目の矮化処理を行います。

#### 4 注意点

ポットハボタンを栽培する上で、最も注意が必要な病気が苗立ち枯れ病です。この病気を予防するため、定期的に薬剤散布をする必要があります。

また、害虫ではコナガやアオムシの防除が大切です。

#### 問い合わせ

農業振興課農業振興係  
☎0824・73・1131

※1 セルトレイ…ハチの巣状の育苗容器。  
※2 矮化…成長抑制剤などを使って、動植物を人為的に小さく育てること。  
※3 寒冷紗…粗く平織りで織り込まれた布。防虫や遮光などに利用される。

## 庄原が好き



農業と加工所を営み  
東城で多彩に活躍する  
瀬尾 裕希さん

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の新魅力を発見することで、人を、まちを、もっと好きになりますように。

んに助けられ、何とかトマトの栽培をスタートさせることができました。

#### 人のつながり

農業のつながりから、地域で地元農産物の加工所を経営している夫妻と出会い、経理を手伝うことになりました。実際に業務に手を付けてみると、その取引量の多さに驚き、何もなかった地元にこんなに頑張っている場所があったのかと感動しました。現在は、夫妻からの誘いもあり、この加工所を引き継いでいけるよう準備を進めています。

その他、カフェを経営していたつながりから、縁結びコンシェルジュとしての活動や、地域のお祭りの手伝いなど、多くの人と関わるようになりました。

田舎は人の数は少ないですが、人との関係は都会より濃密だと思えます。人とのつながりや結びつきの力で故郷が形づくられていたんだと感じます。「どうせ人は増えない」「町はよくならない」といった言葉も耳にします。確かにどうにもならないことはありますが、「自分一人では難しくても、できる人がいる。二人ならできる。きつと協力してくれる」とあきらめずに頑張っていきたいです。

#### 問い合わせ

自治定住課定住推進係  
☎0824・73・1257

#### 農業への挑戦

Uターンのきつかけは7年前、福山市で飲食店を経営していた頃でした。母から「35歳になったら帰ってくるって言ったよね」という電話があり、父が体調を崩していたことも重なって、東城町に帰ることを決断しました。

帰ってきた当初はカフェを経営していましたが、このまま続けるか悩んでいたところ、自宅の周りの休耕田や耕作放棄地が目に入りました。

そこで思い付いたのが農業です。未経験で、知識やノウハウもありませんでしたが、周囲は農業の先生の宝庫でした。資材や農機具を貸してくれたら、譲ってくれたりする人もあり、地域の皆さま